

体育科 十日市場小学校 評価規準

「体育科 体づくりの運動遊び(小学校第1学年及び第2学年)」

【学習指導要領の内容】

体づくりの運動遊びについて、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、体を動かす心地よさを味わったり、基本的な動きを身に付けたりすること。
 - ア 体ほぐしの運動遊びでは、手軽な運動遊びを行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすること。
 - イ 多様な動きをつくる運動遊びでは、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをすること。
- (2) 体をほぐしたり多様な動きをつくったりする遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3) 運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすること。

【体づくりの運動遊び(小学校第1学年及び第2学年)の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 体ほぐしの運動遊びでは、その行い方を知るとともに、手軽な運動遊びを行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすることができる。 ・ 多様な動きをつくる運動遊びでは、その行い方を知るとともに、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しくできる体ほぐしの運動遊びや多様な動きをつくる運動遊びを選んでいる。 ・ 友達のよい動きを見付けたり、工夫したりした楽しい遊び方を友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体ほぐしの運動遊びや多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ・ 運動遊びをする際に、順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしようとしている。 ・ 運動遊びで使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ・ 危険物が無いか、友達とぶつからない十分な間隔があるかななどの場の安全に気を付けている。

「体育科 体づくり運動(小学校第3学年及び第4学年)」

【学習指導要領の内容】

体づくり運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、体を動かす心地よさを味わったり、基本的な動きを身に付けたりすること。
 - ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすること。
 - イ 多様な動きをつくる運動では、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをし、それらを組み合わせること。
- (2) 自己の課題を見付け、その解決のための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3) 運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすること。

【体づくり運動(小学校第3学年及び第4学年)の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動では、その行い方を知るとともに、手軽な運動を行い、心と体の変化に気付いたり、みんなで関わり合ったりすることができる。 ・多様な動きをつくる運動では、その行い方を知るとともに、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをし、それらを組み合わせることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動や多様な動きをつくる運動について自己の課題を見付け、その課題を解決するために様々な運動の行い方を工夫したり、友達と一緒に工夫したりしている。 ・楽しく運動をしながら心と体の変化に気付いたことや、友達と関わり合ったり、多様な動きを身に付けたりするための運動の行い方について、考えたことや見付けたことを友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動や多様な動きをつくる運動に進んで取り組もうとしている。 ・運動を行う際にきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとしている。 ・使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒に取り組もうとしている。 ・友達の考えを認めたり、互いの気持ちを尊重し合ったりしようとしている。 ・活動の場の危険物を取り除いたり、用具や活動する場の安全を確かめたりしている。

「体育科 体づくり運動(小学校第5学年及び第6学年)」

【学習指導要領の内容】

体づくり運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、体を動かす心地よさを味わったり、体の動きを高めたりすること。
 - ア 体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体との関係に気付いたり、仲間と関わり合ったりすること。
 - イ 体の動きを高める運動では、ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動をすること。
- (2) 自己の体の状態や体力に応じて、運動の行い方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。
- (3) 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすること。

【体づくり運動(小学校第5学年及び第6学年)の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動では、その行い方を理解するとともに、手軽な運動を行い、心と体の変化に気付いたり、仲間と関わり合ったりすることができる。 ・体の動きを高める運動では、その行い方を理解するとともに、ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動について、自己の心と体の状態や体力に応じて運動の課題や行い方を選んでいる。 ・体をほぐしたり、体の動きを高めたりするために自己やグループで考えた運動の行い方を仲間に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に積極的に取り組もうとしている。 ・運動を行う際の約束を守り、仲間と助け合おうとしている。 ・運動を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たそうとしている。 ・運動の行い方について仲間の気付きや考え、取組のよさを認めようとしている。 ・運動の場の危険物を取り除くとともに、用具の使い方や周囲の安全に気を配っている。

「体育科 器械・器具を使つての運動遊び(小学校第1学年及び第2学年)」

【学習指導要領の内容】

器械・器具を使つての運動遊びについて、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。
 - ア 固定施設を使つた運動遊びでは、登り下りや懸垂移行、渡り歩きや跳び下りをするこ
 - イ マットを使つた運動遊びでは、いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転をす
 - ウ 鉄棒を使つた運動遊びでは、支持しての揺れや上がり下り、ぶら下がりや易しい回転をすること。
 - エ 跳び箱を使つた運動遊びでは、跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りをする
- (2) 器械・器具を用いた簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3) 運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすること。

【器械・器具を使つての運動遊び(小学校第1学年及び第2学年)の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 固定施設を使つた運動遊びでは、その行い方を知るとともに、登り下りや懸垂移行、渡り歩きや跳び下りをすることができる。 ・ マットを使つた運動遊びでは、その行い方を知るとともに、いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転をすることができる。 ・ 鉄棒を使つた運動遊びでは、その行い方を知るとともに、支持しての揺れや上がり下りぶら下がりや易しい回転をすることができる。 ・ 跳び箱を使つた運動遊びではその行い方を知るとともに、跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 固定施設を使つた運動遊びやマットを使つた運動遊び、鉄棒を使つた運動遊び、跳び箱を使つた運動遊びの簡単な遊び方を選んでいる。 ・ 友達のよい動きを見付けたり考えたりしたことを友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ぶら下がったり、逆さになったりするなどのいろいろな姿勢をして遊んだり、動物の真似をして腕で支えながら移動したり、転がったりするなど、器械・器具を使つての運動遊びに進んで取り組もうとしている。 ・ 器械・器具を使つたいろいろな運動遊びをする際に、順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしようとしている。 ・ 器械・器具の準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ・ 転がったり、跳び下りたりするときなどに、危ないものがないか、近くに人がいないか、跳び箱などの器械・器具が安全に置かれているかなどの場の安全に気を付けている。

「体育科 器械運動(小学校第3学年及び第4学年)」

【学習指導要領の内容】

器械運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、その技を身に付けること。
 - ア マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技をすること。
 - イ 鉄棒運動では、支持系の基本的な技をすること。
 - ウ 跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技をすること。
- (2) 自己の能力に適した課題を見付け、技ができるようになるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3) 運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり場や器械・器具の安全に気を付けたりすること。

【器械運動(小学校第3学年及び第4学年)の評価規準の設定】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ マット運動では、その行い方を知るとともに、回転系や巧技系の基本的な技をすることができる。 ・ 鉄棒運動では、その行い方を知るとともに、支持系の基本的な技をすることができる。 ・ 跳び箱運動では、その行い方を知るとともに、切り返し系や回転系の基本的な技をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の能力に適した課題を見付け、その課題の解決のための活動を選んでいる。 ・ 課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回転したり、支持したり、逆位になったりするなど、マット運動や鉄棒運動、跳び箱運動の基本的な技に進んで取り組もうとしている。 ・ マットや跳び箱、踏み切り板などの器械・器具の正しい使い方や試技をする前の待ち方、技を観察するときのきまりなどを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとしている。 ・ 器械・器具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ・ 互いの動きを見合ったり補助をし合ったりして、技がうまくできたときの動き方や気付いたことなどを伝え合う際に友達の考えを認めようとしている。 ・ 場の危険物を取り除いたり、器械・器具の安全を確かめたりするとともに、試技の開始前の安全を確かめている。

「体育科 器械運動(小学校第5学年及び第6学年)」

【学習指導要領の内容】

器械運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技を身に付けること。
 - ア マット運動では、回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりすること。
 - イ 鉄棒運動では、支持系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりすること。
 - ウ 跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったりすること。
- (2) 自己の能力に適した課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。
- (3) 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や器械・器具の安全に気を配ったりすること。

【器械運動(小学校第5学年及び第6学年)の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ マット運動では、その行い方を理解するとともに、回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったりそれらを繰り返したり組み合わせたりすることができる。 ・ 鉄棒運動では、その行い方を理解するとともに、支持系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりすることができる。 ・ 跳び箱運動では、その行い方を理解するとともに、切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技を行ったりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の能力に適した課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだりしている。 ・ 課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 膝を伸ばして回転したり、体を真っ直ぐ伸ばして逆さ姿勢になったり、それらの技を組み合わせたりするなど、マット運動、鉄棒運動及び跳び箱運動の基本的な技や発展技に積極的に取り組もうとしている。 ・ 互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り仲間と助け合おうとしている。 ・ 器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たそうとしている。 ・ 技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めようとしている。 ・ けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。

「体育科 走・跳の運動遊び(小学校第1学年及び第2学年)」

【学習指導要領の内容】

走・跳の運動遊びについて、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。
 - ア 走の運動遊びでは、いろいろな方向に走ったり、低い障害物を走り越えたりすること。
 - イ 跳の運動遊びでは、前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりすること。
- (2) 走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3) 運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場の安全に気を付けたりすること。

【走・跳の運動遊び(小学校第1学年及び第2学年)の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 走の運動遊びでは、その行い方を知るとともに、いろいろな方向に走ったり、低い障害物を走り越えたりすることができる。 ・ 跳の運動遊びでは、その行い方を知るとともに、前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 走の運動遊びや跳の運動遊びの簡単な遊び方を選んでいる。 ・ 友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 走の運動遊びや跳の運動遊びに進んで取り組みようとしている。 ・ かけっこやリレー遊びなどを行う際に、順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしようとしている。 ・ かけっこやリレー遊びなどの勝敗を受け入れようとしている。 ・ 運動遊びで使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ・ 走る場所に危険物が無いか、跳ぶ運動遊びをするときに、友達とぶつからない十分な間隔があるかなどの場の安全に気を付けている。

「体育科 走・跳の運動(小学校第3学年及び第4学年)」

【学習指導要領の内容】

走・跳の運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。
 - ア かけっこ・リレーでは、調子よく走ったりバトンの受渡しをしたりすること。
 - イ 小型ハードル走では、小型ハードルを調子よく走り越えること。
 - ウ 幅跳びでは、短い助走から踏み切って跳ぶこと。
 - エ 高跳びでは、短い助走から踏み切って跳ぶこと。
- (2) 自己の能力に適した課題を見付け、動きを身に付けるための活動や競争の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3) 運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすること。

【走・跳の運動(小学校第3学年及び第4学年)の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・かけっこ・リレーでは、その行い方を知るとともに、調子よく走ったりバトンの受渡しをしたりすることができる。 ・小型ハードル走では、その行い方を知るとともに、小型ハードルを調子よく走り越えることができる。 ・幅跳びでは、その行い方を知るとともに、短い助走から踏み切って跳ぶことができる。 ・高跳びでは、その行い方を知るとともに、短い助走から踏み切って跳ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の課題を見付け、その課題の解決のための活動を選んでいる。 ・友達との競走(争)の仕方を考え、競走(争)の規則や記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・友達のよい動きや変化を見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かけっこ・リレーや小型ハードル走、幅跳びや高跳びに進んで取り組もうとしている。 ・かけっこやリレーなどのきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとしている。 ・走・跳の運動で使用する用具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ・かけっこやリレーなどの勝敗を受け入れようとしている。 ・小型ハードル走で互いの動きを見合ったり、高跳びで動きのよさや課題を伝え合ったりするなどの際に、友達の考えを認めようとしている。 ・小型ハードル走をする場所や幅跳びをする砂場などの危険物を取り除くとともに、用具の安全を確かめている。

「体育科 陸上運動(小学校第5学年及び第6学年)」

【学習指導要領の内容】

陸上運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技能を身に付けること。
 - ア 短距離走・リレーでは、一定の距離を全力で走ったり、滑らかなバトンの受渡しをしたりすること。
 - イ ハードル走では、ハードルをリズムカルに走り越えること。
 - ウ 走り幅跳びでは、リズムカルな助走から踏み切って跳ぶこと。
 - エ 走り高跳びでは、リズムカルな助走から踏み切って跳ぶこと。
- (2) 自己の能力に適した課題の解決の仕方、競争や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。
- (3) 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすること。

【陸上運動(小学校第5学年及び第6学年)の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走・リレーでは、その行い方を理解するとともに、一定の距離を全力で走ったり、滑らかなバトンの受渡しをしたりすることができる。 ・ハードル走では、その行い方を理解するとともに、ハードルをリズムカルに走り越えることができる。 ・走り幅跳びでは、その行い方を理解するとともに、リズムカルな助走から踏み切って跳ぶことができる。 ・走り高跳びでは、その行い方を理解するとともに、リズムカルな助走から踏み切って跳ぶことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己やグループの能力に適した課題を見付け、課題に応じた練習の場や段階を選んでいる。 ・自己の能力に適した競走(争)のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・自己や仲間の動きの変化や伸びを見付けたり、考えたりしたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短距離走・リレーやハードル走、走り幅跳びや走り高跳びに積極的に取り組もうとしている。 ・短距離走やリレーなどの約束を守り、仲間と助け合おうとしている。 ・陸上運動をするときに用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たそうとしている。 ・短距離やリレーなどの勝敗を受け入れようとしている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めようとしている。 ・短距離走の場の危険物を取り除いたり、走り高跳びの場を整備したりするとともに、用具の安全に気を配っている。

「体育科 水遊び(小学校第1学年及び第2学年)」

【学習指導要領の内容】

水遊びについて、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。
 - ア 水の中を移動する運動遊びでは、水につかって歩いたり走ったりすること。
 - イ もぐる・浮く運動遊びでは、息を止めたり吐いたりしながら、水にもぐったり浮いたりすること。
- (2) 水の中を移動したり、もぐったり浮いたりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3) 運動遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、水遊びの心得を守って安全に気を付けたりすること。

【水遊び(小学校第1学年及び第2学年)の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 水の中を移動する運動遊びでは、その行い方を知るとともに、水につかって歩いたり走ったりすることができる。 ・ もぐる・浮く運動遊びでは、その行い方を知るとともに、息を止めたり吐いたりしながら、水にもぐったり浮いたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水の中を移動する運動遊びやもぐる・浮く運動遊びの簡単な遊び方、場を選んでいる。 ・ 友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水につかって動物の真似をしたり鬼遊びをしたり、いろいろな姿勢でもぐったり浮いたりするなど、水遊びに進んで取り組もうとしている。 ・ 水遊びをする際に、順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしようとしている。 ・ 水遊びで使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ・ 準備運動や整理運動をしっかり行う、丁寧にシャワーを浴びる、プールサイドは走らない、プールに飛び込まないなどの水遊びの心得を守っている。また、水遊びをする前には、体（爪、耳、鼻、頭髪等）を清潔にしている。

「体育科 水泳運動(小学校第3学年及び第4学年)」

【学習指導要領の内容】

水泳運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、その動きを身に付けること。
 - ア 浮いて進む運動では、け伸びや初歩的な泳ぎをすること。
 - イ もぐる・浮く運動では、息を止めたり吐いたりしながら、いろいろなもぐり方や浮き方をすること。
- (2) 自己の能力に適した課題を見付け、水の中での動きを身に付けるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3) 運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、友達の考えを認めたり、水泳運動の心得を守って安全に気を付けたりすること。

【水泳運動(小学校第3学年及び第4学年)の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 浮いて進む運動では、その行い方を知るとともに、プールの底や壁を蹴った勢いを利用して進むけ伸びをしたり、浮いて呼吸をしながら手や足を使って進む初歩的な泳ぎをしたりすることができる。 ・ もぐる・浮く運動では、その行い方を知るとともに、呼吸を調整しながら様々なもぐり方をしたり、背浮き姿勢で浮いたり、簡単な浮き沈みをしたりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の能力に適した課題を見付け、その課題の解決のための活動を選んでいる。 ・ 課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ け伸びや初歩的な泳ぎをしたり、様々なもぐり方や浮き方をしたりするなど、水泳運動に進んで取り組もうとしている。 ・ け伸びをする際に順番にスタートしたり、決まった場所で友達と練習したりするなど、水泳運動のきまりを守り、誰とでも仲よく励まし合おうとしている。 ・ 水泳運動の練習で使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ・ 互いの動きを見合ったり補助し合ったりするときに見付けた動きの良さや課題について伝え合う際に、友達の考えを認めようとしている。 ・ 準備運動や整理運動を正しく行う、バディで互いを確認しながら活動する、体操、シャワー、水慣れ、入り方などの心得を守って活動している。

「体育科 水泳運動(小学校第5学年及び第6学年)」

【学習指導要領の内容】

水泳運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技能を身に付けること。
 - ア クロールでは、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐこと。
 - イ 平泳ぎでは、手や足の動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐこと。
 - ウ 安全確保につながる運動では、背浮きや浮き沈みをしながら続けて長く浮くこと。
- (2) 自己の能力に適した課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。
- (3) 運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動をしたり、仲間の考えや取組を認めたり、水泳運動の心得を守って安全に気を配ったりすること。

【水泳運動(小学校第5学年及び第6学年)の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ クロールでは、その行い方を理解するとともに、左右の手を入れ替える動きに呼吸を合わせて続けて長く泳ぐことができる。 ・ 平泳ぎでは、その行い方を理解するとともに、手の動きに合わせて呼吸し、キックの後には息を止めてしばらく伸びて、続けて長く泳ぐことができる。 ・ 安全確保につながる運動では、その行い方を理解するとともに、背浮きや浮き沈みをしながらタイミングよく呼吸をしたり手や足を動かしたりして、続けて長く浮くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己の課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた練習の場や段階を選んだりしている。 ・ 自己の能力に適した記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・ 課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水泳運動が自己保全のために必要であることを生かし、クロールや平泳ぎをしたり、背浮きや浮き沈みをしたりするなどの水泳運動に積極的に取り組もうとしている。 ・ 自己や仲間の課題を解決するための練習では、練習場所やレーンの使い方、補助の仕方などの約束を守り、仲間と助け合おうとしている。 ・ 水泳運動で使用する用具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たそうとしている。 ・ 課題を見付けたり、解決方法を工夫したりする際に仲間の考えや取組を認めようとしている。 ・ プールの底・水面などに危険物がないかを確認したり、自己の体の調子をかかめてから泳いだり、仲間の体の調子にも気を付けるなど、水泳運動の心得を守って安全に気を配っている。

「体育科 ゲーム(小学校第1学年及び第2学年)」

【学習指導要領の内容】

ゲームについて、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、易しいゲームをすること。
 - ア ボールゲームでは、簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって、易しいゲームをすること。
 - イ 鬼遊びでは、一定の区域で、逃げる、追いかける、陣地を取り合うなどをする。
- (2) 簡単な規則を工夫したり、攻め方を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3) 運動遊びに進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気を付けたりすること。

【ゲーム(小学校第1学年及び第2学年)の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ ボールゲームでは、その行い方を知るとともに、簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって、易しいゲームをすることができる。 ・ 鬼遊びでは、その行い方を知るとともに、一定の区域で、逃げる、追いかける、陣地を取り合うなどができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボールゲームや鬼遊びの簡単な遊び方を選んでいる。 ・ 友達のよい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボールゲームや鬼遊びに進んで取り組もうとしている。 ・ ボールゲームや鬼遊びをする際に、順番や規則を守り、誰とでも仲よくしようとしている。 ・ ボールゲームや鬼遊びの勝敗を受け入れようとしている。 ・ ボールゲームや鬼遊びで使用する用具等の準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ・ ボールゲームや鬼遊びを行う際に、危険物が無いか、安全にゲームができるかなどの場の安全に気を付けている。

「体育科 ゲーム(小学校第3学年及び第4学年)」

【学習指導要領の内容】

ゲームについて、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、易しいゲームをすること。
 - ア ゴール型ゲームでは、基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをすること。
 - イ ネット型ゲームでは、基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きによって、易しいゲームをすること。
 - ウ ベースボール型ゲームでは、蹴る、打つ、捕る、投げるなどのボール操作と得点をとったり防いだりする動きによって、易しいゲームをすること。
- (2) 規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3) 運動に進んで取り組み、規則を守り誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、友達の考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすること。

【ゲーム(小学校第3学年及び第4学年)の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴール型ゲームでは、その行い方を知るとともに、基本的なボール操作とボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをすることができる。 ・ ネット型ゲームでは、その行い方を知るとともに、基本的なボール操作とボールを操作できる位置に体を移動する動きによって、易しいゲームをすることができる。 ・ ベースボール型ゲームでは、その行い方を知るとともに、蹴る、打つ、捕る、投げるなどのボール操作と得点をとったり防いだりする動きによって、易しいゲームをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 規則を工夫している。 ・ ゲームの型に応じた簡単な作戦を選んでいる。 ・ 課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 易しいゴール型ゲーム、ネット型ゲーム、ベースボール型ゲームに進んで取り組もうとしている。 ・ ゲームの規則を守り、誰とでも仲よくゲームをしようとしている。 ・ ゲームで使用する用具などの準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ・ ゲームの勝敗を受け入れようとしている。 ・ ゲームやそれらの練習の中で互いに動きを見合ったり、話し合ったりして見つけた動きのよさや課題を伝え合う際に、友達の考えを認めようとしている。 ・ ゲームやそれらの練習の際に、使用する用具などを片付けて場の危険物を取り除くなど、周囲を見て場や用具の安全を確かめている。

「体育科 ボール運動(小学校第5学年及び第6学年)」

【学習指導要領の内容】

ボール運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、その技能を身に付け、簡易化されたゲームをすること。
 - ア ゴール型では、ボール操作とボールを持たないときの動きによって、簡易化されたゲームをすること。
 - イ ネット型では、個人やチームによる攻撃と守備によって、簡易化されたゲームをすること。
 - ウ ベースボール型では、ボールを打つ攻撃と隊形をとった守備によって、簡易化されたゲームをすること。
- (2) ルールを工夫したり、自己やチームの特徴に応じた作戦を選んだりするとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。
- (3) 運動に積極的に取り組み、ルールを守り助け合って運動をしたり、勝敗を受け入れたり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすること。

【ボール運動(小学校第5学年及び第6学年)の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ ボール操作とボールを持たないときの動きを理解するとともに、簡易化されたゲームをすることができる。 ・ 個人やチームによる攻撃と守備を理解するとともに、簡易化されたゲームをすることができる。 ・ ボールを打つ攻撃と隊形をとった守備を理解するとともに、簡易化されたゲームをすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 誰もが楽しくゲームに参加できるように、プレイヤーの人数、コート広さ、プレイの制限、得点の仕方などのルールを選んでいる。 ・ 自己やチームの特徴を確認して作戦を選んでいる。 ・ 味方が受けやすいようにボールをつなぐことについて考えたことを他者に伝えている。 ・ 守備の隊形について工夫したことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴール型、ネット型、ベースボール型の簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組もうとしている。 ・ ルールやマナーを守り、仲間と助け合おうとしている。 ・ ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たそうとしている。 ・ ゲームの勝敗の結果を受け入れようとしている。 ・ ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めようとしている。 ・ ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。

「体育科 表現リズム遊び(小学校第1学年及び第2学年)」

【学習指導要領の内容】

表現リズム遊びについて、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、題材になりきったりリズムに乗ったりして踊ること。
 - ア 表現遊びでは、身近な題材の特徴を捉え、全身で踊ること。
 - イ リズム遊びでは、軽快なリズムに乗って踊ること。
- (2) 身近な題材の特徴を捉えて踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする簡単な踊り方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3) 運動遊びに進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、場の安全に気を付けたりすること。

【表現リズム遊び(小学校第1学年及び第2学年)の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・表現遊びでは、その行い方を知るとともに、身近な題材の特徴を捉え、そのものになりきって全身で即興的に踊ることができる。 ・リズム遊びでは、その行い方を知るとともに、軽快なリズムに乗って踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な題材の特徴を捉えて踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする表現遊びやリズム遊びの簡単な踊り方を工夫している。 ・よい動きを見付けたり、考えたりしたことを友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・題材になりきって踊ったり、軽快なリズムに乗って踊ったりする運動遊びに進んで取り組みようとしている。 ・表現遊びやリズム遊びに取り組む際に、誰とでも仲よく踊ろうとしている。 ・表現リズム遊びをする場の設定や使った用具の片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ・友達とぶつからないように周りの安全に気を付けて踊っている。

「体育科 表現運動(小学校第3学年及び第4学年)」

【学習指導要領の内容】

表現運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、表したい感じを表現したりリズムに乗ったりして踊ること。
 - ア 表現では、身近な生活などの題材からその主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで踊ること。
 - イ リズムダンスでは、軽快なリズムに乗って全身で踊ること。
- (2) 自己の能力に適した課題を見付け、題材やリズムの特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。
- (3) 運動に進んで取り組み、誰とでも仲よく踊ったり、友達の動きや考えを認めたり、場の安全に気を付けたりすること。

【表現運動(小学校第3学年及び第4学年)の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・表現では、その行い方を知るとともに、身近な生活などの題材からその主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで踊ることができる。 ・リズムダンスでは、その行い方を知るとともに、軽快なリズムに乗って全身で踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の能力に適した課題を見付け、その課題の解決のための活動を選んでいる。 ・課題の解決のために考えたことを友達に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表したい感じをひと流れの動きで踊ったり、軽快なリズムに乗って全身で踊ったりする運動に進んで取り組もうとしている。 ・表現やリズムダンスに取り組む際に、誰とでも仲よく踊ろうとしている。 ・表現やリズムダンスを行う場の設定や用具の片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ・表現やリズムダンスでの友達の動きや楽しく踊るための友達の考えを認めようとしている。 ・友達とぶつからないよう安全を確かめて踊っている。

「体育科 表現運動(小学校第5学年及び第6学年)」

【学習指導要領の内容】

表現運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

- (1) 次の運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、表したい感じを表現したり踊りで交流したりすること。
 - ア 表現では、いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすること。
 - イ フォークダンスでは、日本の民踊や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊ること。
- (2) 自己やグループの課題の解決に向けて、表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。
- (3) 運動に積極的に取り組み、互いのよさを認め合い助け合って踊ったり、場の安全に気を配ったりすること。

【表現運動(小学校第5学年及び第6学年)の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・表現では、その行い方を理解するとともに、いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして表現したりすることができる。 ・フォークダンスでは、その行い方を理解するとともに、日本の民踊や外国の踊りから、それらの踊り方の特徴を捉え、音楽に合わせて簡単なステップや動きで踊ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己やグループの課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた見合いや交流の仕方などを選んだりしている。 ・課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表したい感じやイメージを表現したり、日本の民踊や外国のフォークダンスで交流したりする運動に積極的に取り組もうとしている。 ・表現やフォークダンスに取り組む際に、互いの動きや考えのよさを認め合おうとしている。 ・表現やフォークダンスにグループで取り組む際に、仲間と助け合おうとしている。 ・表現やフォークダンスを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たそうとしている。 ・活動する場所の危険物を取り除くとともに、仲間とぶつからないよう、場の安全に気を配っている。

「体育科 保健領域(小学校第3学年)」

【学習指導要領の内容】

- (1) 健康な生活について、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 健康な生活について理解すること。
- (ア) 心や体の調子がよいなどの健康の状態は、主体の要因や周囲の環境の要因が関わっていること。
- (イ) 毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けること、また、体の清潔を保つことなどが必要であること。
- (ウ) 毎日を健康に過ごすには、明るさの調節、換気などの生活環境を整えることなどが必要であること。
- イ 健康な生活について課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現すること。

【健康な生活(小学校第3学年)の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">心や体の調子がよいなどの健康の状態は、1日の生活の仕方などの主体の要因や周囲の環境の要因が関わっていることが分かっている。毎日を健康に過ごすには、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続けることと、体の清潔を保つことなどが必要であることが分かっている。毎日を健康に過ごすには、明るさの調節、換気などの生活環境を整えることなどが必要であることが分かっている。	<ul style="list-style-type: none">日常生活や、事例などを用いた話し合いなどを通して、健康についての課題を見付け、健康な生活を目指す視点から、その解決の方法を考えている。健康な生活を目指す視点から、課題を解決する方法を考えたことを表現している。	<ul style="list-style-type: none">健康の大切さに気付き、自分の健康に関心をもち、毎日の健康な生活のために進んで学習に取り組もうとしている。毎日を健康に過ごすために、自分の生活を振り返り、学習したことを生活に生かそうとしている。

「体育科 保健領域(小学校第4学年)」

【学習指導要領の内容】

(2) 体の発育・発達について、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 体の発育・発達について理解すること。

(ア) 体は、年齢に伴って変化すること。また、体の発育・発達には、個人差があること。

(イ) 体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきが変わったり、初経、精通などが起こったりすること。また、異性への関心が芽生えること。

(ウ) 体をよりよく発育・発達させるには、適切な運動、食事、休養及び睡眠が必要であること。

イ 体がよりよく発育・発達するために、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現すること。

【体の発育・発達(小学校第4学年)の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 体は、年齢に伴って変化すること、体の発育・発達には、個人差があることが分かっている。 ・ 体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきに男女の特徴が表れたり、初経、精通などが起こったりすること、また、異性への関心が芽生えることが分かっている。 ・ 体をよりよく発育・発達させるためには、適切な運動、調和のとれた食事、休養及び睡眠が必要であることが分かっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活や、事例などを用いた話合いなどを通して、体の発育・発達についての課題を見付け、体をよりよく発育・発達させるための解決の方法を考えている。 ・ 体のよりよい発育・発達を目指す視点から考えたことを表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体の発育・発達に関心を持ち、進んで学習に取り組んだり、課題解決のために協力したりしようとしている。 ・ 心身の発育・発達を肯定的に捉え、よりよい発育・発達のために必要なことを実践しようとしている。

「体育科 保健領域(小学校第5学年)」

【学習指導要領の内容】

(1) 心の健康について、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 心の発達及び不安や悩みへの対処について理解するとともに、簡単な対処をすること。

(ア) 心は、いろいろな生活経験を通して、年齢に伴って発達すること。

(イ) 心と体には、密接な関係があること。

(ウ) 不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があること。

イ 心の健康について、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること。

【心の健康(小学校第5学年)の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 心は、いろいろな生活経験を通して、年齢に伴って発達することが分かっている。 心と体には、密接な関係があることが分かっている。 不安や悩みなどへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があることが分かり、自分に合った方法で対処をすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や、事例などを用いた話合いを通して、心の健康について課題を見付け、心をよりよく発達させたり不安や悩みなどに対処したりする解決の方法について考えている。 心のよりよい発達や、不安や悩みなどへの対処について考えたり、適切な方法について選んだりしたことを表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 心の健康の大切さに気付き、自己の心の健康の保持増進や回復に向け、主体的に学習に取り組もうとしている。 自他の心の発達を肯定的に捉え、明るい生活を営もうとしている。 不安や悩みの対処について、学んだことを生かして、生活の中で適切な方法を実践しようとしている。

「体育科 保健領域(小学校第5学年)」

【学習指導要領の内容】

(2) けがの防止について、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。

(ア) 交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。

(イ) けがなどの簡単な手当は、速やかに行う必要があること。

イ けがを防止するために、危険の予測や回避の方法を考え、それらを表現すること。

【けがの防止(小学校第5学年)の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であることが分かっている。 ・けがの簡単な手当は速やかに行う必要があることが分かっている。 ・傷口を清潔にする、圧迫して出血を止める、患部を冷やすなどの簡単な手当ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活や事例などを用いた話合いを通して、けがの防止について身近な生活における課題を見付け、危険の予測や回避をしたり、けがを手当したりする方法を考えている。 ・けがの防止や手当の視点から、危険の予測や回避、けがの手当について考えたことを表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・けがの防止の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に向け、主体的に学習に取り組もうとしている。 ・日常生活でけがや事故にあわないために、安全な行動を心がけている。 ・けがをしたときに、自分でできる簡単な手当を実践しようとしている。

「体育科 保健領域(小学校第6学年)」

【学習指導要領の内容】

(3) 病気の予防について、課題を見付け、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 病気の予防について理解すること。

(ア) 病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境が関わりあって起こること。

(イ) 病原体が主な要因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であること。

(ウ) 生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとること、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身に付ける必要があること。

(エ) 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となること。

(オ) 地域では、保健に関わる様々な活動が行われていること。

イ 病気を予防するために、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること。

【病気の予防(小学校第6学年)の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病気は、病原体、体の抵抗力、生活行動、環境が関わりあって起こることが分かっている。 ・ 病原体が主な要因となって起こる病気の予防には、病原体が体に入るのを防ぐことや病原体に対する体の抵抗力を高めることが必要であることが分かっている。 ・ 生活習慣病などの生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとること、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身に付ける必要があることが分かっている。 ・ 喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、健康を損なう原因となることが分かっている。 ・ 地域では、保健に関わる様々な活動が行われていることが分かっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活や、事例などを用いた話し合いを通して、病気の予防について課題を見付け、病気の予防や回復のための適切な方法について考えている。 ・ 病気を予防する視点から解決の方法について考えたり、適切な方法について選んだりしたことを表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病気の予防の大切さに気付き、自己の健康の保持増進や回復に向け、主体的に学習に取り組もうとしている。 ・ 自分の生活の課題に気付き、病気にかからないための生活を心がけている。